

学習者用デジタル教科書, 指導者用デジタルブックなどの 指導用周辺教材で日々の授業をサポートします。

学習者用デジタル教科書

<https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/chu/ict/>
デジタル教科書等を紹介するWebページに、こちらからアクセスできます。



文部科学省は、2019年末に「GIGAスクール構想」を打ち出し、ハード・ソフト・指導体制一体でのICT教育の充実を推進しています。東京書籍は、令和3年度用中学校教科書の新全行書目で「学習者用デジタル教科書」を発行します。

「新しい技術・家庭 技術分野」学習者用デジタル教科書の主な特徴

●複数の教科を一括管理

東京書籍をはじめ、複数の発行者が採用するビューア「Lentrance Reader」を用いています。さまざまな教科・教材を一括管理できます。



●学習を支える便利な機能

教科書に、ペンツールで自分の考えを書き込んだり、Web上の参考資料へのリンクを貼り付けたりすることができます。学習記録としてそのまま保存することもでき、生徒の主体的な学びを支えます。また、教科書のDマークをクリックして、連携するデジタルコンテンツを利用することができます。



●特別支援教育への対応

教科書紙面を拡大したり、文字を白黒反転して表示したりすることができます。また、総ルビ・分かち書きで表示する機能は、発達障害のある生徒や、急増する帰国・外国人生徒など、日本語を読むことが苦手な生徒の学びを助けます。

※生徒一人一人の主体的・探求的な学びに有効なコンテンツを多数収録した学習者用デジタル教材の発行も予定しています。

指導者用デジタルブック (教師用指導書付属DVD-ROM)

教師用指導書には、「年間指導計画例」「評価問題例」「ワークシート」「図版集」など、授業やテスト、プリント作成に役立つ指導者用DVD-ROM「データ集」に加えて、電子黒板等を使用して教科書紙面と関連するコンテンツを提示することができる「指導者用デジタルブック」を収録しています。

Dマークコンテンツよりも更に多様で多彩なコンテンツを収録しており、教科書上のアイコンをクリックするだけの簡単な操作で、動画やシミュレーション、他教科の教科書紙面などを提示することができます。



※本冊子で紹介する商品は企画中のため、内容・仕様ともに予告なく変更になる場合があります。



誰でも分かりやすく
使いやすい教科書を
目指して

東京書籍の「新しい技術・家庭 技術分野」は
誰でも分かりやすく使いやすい教科書を
目指して編集しています。



- 特長① 授業の流れが見える内容構成
- 特長② 問題解決能力の育成を目指して
- 特長③ ビジュアルで豊富な写真資料とDマークコンテンツ
- 特長④ 学習のつながりがある教科書を目指して
- 特長⑤ ユニバーサルデザインを目指して

初めて授業するには？

特別支援教育への対応は？

新学習指導要領への対応は？

気になる疑問に
お答えします！

この資料は、令和3年度中学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

東京書籍

東京書籍の「新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology」は、
若手の先生や専門外の先生、初めて教科書を手にする生徒など、
誰にとっても分かりやすく使いやすい教科書になるように編集しています。
本冊子は、Q&A形式で、気になる疑問についてお答えしています。



時間数の関係で、専門外の技術・家庭科を教えること
になったけど、どうすればよいだろう。

授業の流れが見える内容構成になっています。

特長①
▶ p.3

設計・製作を中心としたものづくりから「技術による
問題解決」にするためには、どうすればよいだろう。

問題解決の流れを繰り返し示しています。

特長②
▶ p.4



生徒のものづくりの経験があまりないので、
技術分野での実習に不安があるな。

ビジュアルな写真やDマークコンテンツで授業をサポートします。

特長③
▶ p.5

学習につながりを持たせて指導したいな。
教科書をどのように活用したらよいだろう。

学習のつながりが見えるように工夫しています。

特長④
▶ p.6



技術分野でも特別支援教育に目を向けていかないと。
誰にでも分かりやすい授業をしたいな。

ユニバーサルデザインに配慮しています。

特長⑤
▶ p.7



特長① 授業の流れが見える内容構成

Q1

時間数の関係で、
専門外の技術・家庭科を教えること
になったけど、どうすればよいだろう。



A

基本ページは「導入」「展開」「まとめ」で構成しており、
教科書の流れで安心して授業を組み立てることができます。また、
各節の冒頭の「目標」では、育成すべき資質・能力を明確に示しています。

目標 指導と評価の一体化につながる。

▲節の基本構成 (p.20-21)

授業のサポート

教師用指導書では、教科書の縮
刷版に解説を加えた「授業展開編」
をご用意しています。

目標、学習の流れ、学習指導上の
留意点、図表の解説、評価の観点な
どで構成し、授業をサポートします。

▲教師用指導書「授業展開編」

「主体的・対話的で
深い学びのためのヒント」
を新設!

Q2

設計・製作を中心としたものづくりから「技術による問題解決」にするためには、どうすればよいだろう。



A

「問題の発見、課題の設定」の場面を各内容に新設しました。生徒は、「問題解決カード」を活用することで、技術による問題解決に自然と取り組むことができます。

「問題解決カード」の新設

いつ	Where	Why	Who	What	How
どんなときに使う?	どこで使う場所はどこ?	何を製作するものは何か?	何のために使う目的は?	どのように問題を解決する?	
教室	自分の部屋で	LEDライト	本を読みたい	読みたい本を速く読む	
寝る時	自分の部屋で	LEDライト	本を速く読む	読みたい本を速く読む	
寝る時	自分の部屋で	LEDライト	本を速く読む	読みたい本を速く読む	

▲問題を発見し、課題を設定しよう (p.170-171)

授業のサポート

豊富な問題解決例を用意し、生徒や学校の実態に合わせて選択できるようにしています。教師用指導書「問題解決編」ではそれぞれの問題解決例について、詳しく解説しています。

▲問題解決例 (p.72, 119, 177)

Q3

生徒のものづくりの経験があまりないので、技術分野での実習に不安があるな。



A

実習の安全や衛生に関する内容の充実を図っています。また、問題解決に取り組むために必要な技能を「TECH Lab」にまとめ、豊富な写真資料で生徒の興味・関心を高めます。

▲TECH Lab (p.114-115)

材料と加工の技術の「チェック・修正」のコーナーは、生徒のつまずきにも対応!

▲チェック! 検査・修正 (p.55)

授業のサポート

Dマークコンテンツでは、「TECH Lab」の動画も公開しています。授業前の予習や、授業後の復習としても活用することができます。

Dマークコンテンツは、こちらよりアクセスできます。
<https://tsho.jp/03j/gi/>



左利きの場合の動画もあります。



▲TECH Lab「切断」



▲TECH Lab「けがき」

Q4

学習につながりを持たせて
指導したいな。教科書をどのように
活用したらよいただろう。



A

教科書はガイダンスから中学校最後まで3年間を見越した構成になっています。また、IoTやSociety5.0に対応するために、「C(2) エネルギー変換の技術」の問題解決例と「D(3) 計測・制御によるプログラミング」の問題解決例は関連を図っています。



▲携帯型扇風機 (p.177)

関連を図っているので、
統合的な問題解決にもつながる!



▲熱中症予防システム (p.244)

授業のサポート

教科書には、「リンクマーク」で他の内容や家庭分野との学習のつながりを示すほか、「他教科マーク」で他教科との関連を示しています。

Dマークコンテンツの「他教科リンク」では、理科や社会の教科書紙面を表示することができます。



▲発電の仕組みと特徴 (p.142)

東京書籍だから
できること!



▲Dマークコンテンツ

Q5

技術分野でも特別支援教育に
目を向けていかないと。
誰にでも分かりやすい授業をしたいな。



A

教科書は特別支援教育の観点から、内容及びデザインについて検討するとともに、専門家による校閲を受けています。全ての生徒にとって認識がしやすいように、文字の書体、図版やイラストのレイアウトなどにも配慮しています。

導入やまとめの活動の
位置を固定!

ユニバーサルデザイン
フォントを採用!



▲節の基本構成 (p.20-21)

カラーユニバーサル
デザインにも配慮!

問題解決例ページの
デザインを統一!

授業のサポート

教師用指導書「入門編」「研究編」で特別支援教育についての特集ページをご用意します。また、教師用指導書付属DVD-ROM(データ集)には、新たに「総ルビ・分かち書き教科書紙面PDF」を収録します。

急増する帰国・外国人生徒など、
日本語を読むことが苦手な生徒の
学びを助けます。



▲総ルビ・分かち書き教科書紙面PDF